

## 深みに漕ぎ出せ

<ルカ5：1～11>



【イエス・キリストと共にある人の関心ごと】

- ①真のクリスチャンが持つ影響 / 腐敗する世の中で塩のように防腐剤の役割
- ②社会的なつながりの中で福音宣教をする / 暗闇を照らす光の役割
- ③クリスチャンの本質的な土台はなにか / 神の言葉である聖書を悟り味わう

◆「おことば通りに従う」のは、自分の概念を越えて従う事を求められる。

マリヤ・・・「本当に私は主のはしためです。おことば通りこの身になりますように。」

ルカ1：38

ナアマン將軍・・・Ⅱ列王記5章

シリアの將軍で重い不治の皮膚病を患っていた。癒される方法がたった一つある。それはヨルダン川へ行って7回浸かる事と神の預言者から言葉をもらう。行うに値しない陳腐な内容に思えた。

この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教の愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。

Iコリント1：21

◆神は、ご自分の働きを成し遂げるために、取るに足りない私たちの日常の営みを用いようとされる。

ペテロが従った先に見た景色は・・・。

網が破れるほどの大漁！ ペテロは喜んだ？

「主よ。私のような者から離れてください。私は罪深い人間ですから。」 8節

- ・神のことばを侮っていた自分のあり方に心が刺された。
- ・今まで、自分が神のことばに従わず自己中心に生きてきたことに気づかされた。

◆イエスさまはペテロを弟子とし、新しい生き方へとペテロを招いた。  
ペテロは生きるための手段としていたものが、不要になった。それ以上のものを得ていることに気づいたから。